

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
 2. 国土交通省建設専門紙記者会
 3. 国土交通省交通運輸記者会
 4. 横須賀市政記者クラブ
- 令和8年7月6日同時配布

2025年 アジア－米国間コンテナ貨物のアジア発着地が南下 ～アジア－米国間コンテナ貨物輸送動向分析を実施～

- アジア－米国間コンテナ貨物は、米中間の関税対立を背景として、東アジアから東南アジアへの発着地シフトがみられた。
- 日本－米国間の米国東西岸別コンテナ貨物輸送シェアに大幅な変化はみられなかった。
- 日本－米国間のトランシップ経路別コンテナ貨物輸送量では、東岸直航航路の一時休止により東岸直航率の低下がみられた。

●背景

国土技術政策総合研究所では、「国際コンテナ戦略港湾政策」の推進を支援するため、機動的な政策立案・評価を行うための国際コンテナ物流に関するデータ収集・分析機能の強化に取り組んでおり、2024年1月に、アジア－米国間コンテナ貨物流動分析に関するHPを開設しました。

この度、HPに2025年の最新データを追加し、近年のアジア－米国間コンテナ貨物輸送動向の分析結果を掲載しましたので、お知らせします。

●主なデータ内容

- アジア⇄米国間のコンテナ貨物輸送量（国別）
- 日本⇄米国間のコンテナ貨物輸送量（米国側発着地域別）
- 日本⇄米国間のコンテナ貨物輸送量（トランシップ経路別）

●掲載先

下記リンクからデータ及び分析結果を閲覧することができます。

<https://www.ysk.nilim.go.jp/kakubu/kouwan/keikaku/container/top.html>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部
港湾計画研究室 佐々木、中川 TEL: 046-844-5027